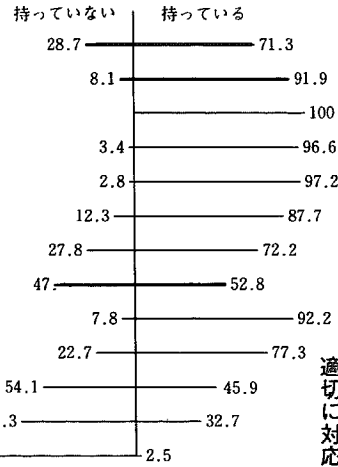


10人に7人が車の免許を持ち10人に1人が交通事故にあったことがある

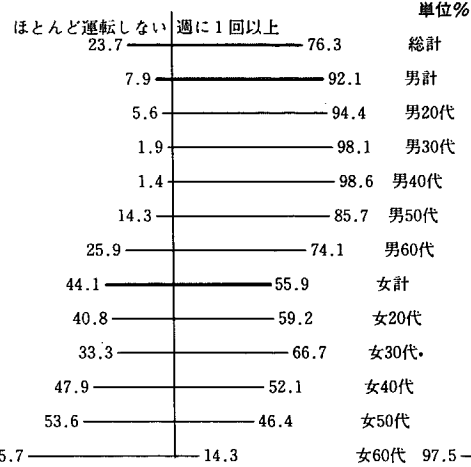
交通安全アンケート調査結果まとめ

町では、町民の皆さんの交通安全に対する意識をつかむために交通安全に関するアンケートを、町民一千人を対象に実施しました。回収率は五五・一％。このほどその結果がまとまりましたので、ここにお知らせします。この調査結果は、増大する交通事故に町などが適切に対応していくために利用されます。

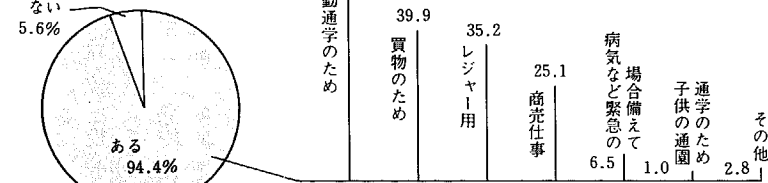
①車の免許を持っていますか。



②車の運転をすることがありますか。



③お宅に自家用車がありますか。



④自家用車はどのように使っていますか

表-④ 電車乗降者数調べ (資料: 新潟交通)

駅名	寺地	越後大野	黒崎中前	新大野	木場	板井	計
55年乗降者数	155,064	338,188	179,299	—	384,653	255,796	1,446,332
60年乗降者数	124,064	336,399	131,091	79,265	272,287	169,216	1,211,307
62年乗降者数	131,501	299,981	92,960	83,498	242,092	141,871	1,066,275
55年を100として60年は	80.0%	99.4%	73.1%	—	70.7%	66.1%	83.7%
55年を100として62年は	84.8%	88.7%	51.8%	—	62.9%	55.4%	73.7%

表-⑤ 自動車保有車数 (資料: 県統計年鑑)

年次	総数	貨物用	乗合用	乗車用	特殊車	自動2輪車	軽自動車	原付き
55年	7,878	2,550	30	4,096	263	70	869	2,035
61年	10,633	2,517	44	5,239	387	175	2,271	2,924
55年を100として61年は	134.9%	98.7%	146.6%	127.1%	147.1%	250.0%	261.3%	143.6%

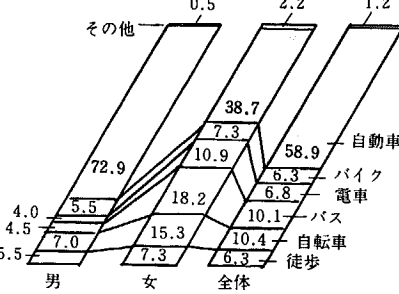
①の「車の免許を持っているか」という間に全体の71・3％の人が「持っている」と答えています。年代・性別に見ると、20代男性で100％の人が、また30代、40代男性でそれぞれ96・6％、97・2％と100％近くの人が車の免許を持っています。20代女性でも92・2％と、若い年代層で高い保有率を示しています。

②の「車を運転することがありますか」という問では、週に1回以上運転するという人が全体で76・3％、男性だけに限ると92・1％になります。免許保有率は92・2％と高い20代女性ですが、「週に1回以上運転する」という人は59・2％で、4割の人がほとんど運転しないと答えています。

③「あなたのお宅には自家用車がありますか」という問に94・4％の家庭で「ある」と答えています。自家用車がある、と答えている皆さんに、自家用車は主にどのような用途に使っているか、とたずねた結果が④です。全体の3分の2の人が通勤通学のためと答え、ついで買物のためという人が40％、レジャー用としてという人が35％。

一方、町内の自動車保有車両数(表B)を見てみると、昭和55年と比べ昭和62年には軽自動車が増え、61・3％、(二・六倍)自動二輪

⑤通勤・通学にどのような交通手段を利用していますか。



調査の概要

- ①調査期間 昭和63年5月25日～6月10日
- ②調査対象 黒崎町に住む満20歳以上の男女1000人
- ③調査方法 選挙人名簿から無作為抽出で対象者を選び郵送でアンケート用紙を送り、郵送で返送していただきました。
- ④回収数 551(回収率55.1%)

回答者551人の内訳

性別	人数	割合 (%)
男	264人	47.9%
女	287人	52.1%

年代別	人数	割合 (%)
20代	87人	15.8%
30代	124人	22.5%
40代	146人	26.5%
50代	113人	20.5%
60以上	81人	14.7%

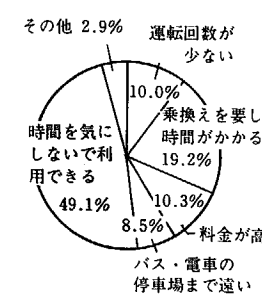
職業別	割合 (%)
会社員・役員・パート	42.6%
主婦・無職	28.1%
自営・農業	18.3%
その他	16.0%

勤務地別	割合 (%)
黒崎町	61.0%
新潟市	30.3%
その他	8.7%

車250・0％(二・五倍)と大幅に増加しています。これは、女性や若者の生活の足としての利用が進んだためと思われる。

「あなたが住む地域の道路が狭い」「歩道が少ない」という意見が多く、それぞれ回答者全体の70％、60％をしめています。また「不法駐車や放置自転車が多い」も40％弱ありました。

⑥自家用車を利用して公共交通機関(バス・電車)を利用しないのはどういう理由と考えますか。



調査の概要

- ①調査期間 昭和63年5月25日～6月10日
- ②調査対象 黒崎町に住む満20歳以上の男女1000人
- ③調査方法 選挙人名簿から無作為抽出で対象者を選び郵送でアンケート用紙を送り、郵送で返送していただきました。
- ④回収数 551(回収率55.1%)

回答者551人の内訳

性別	人数	割合 (%)
男	264人	47.9%
女	287人	52.1%

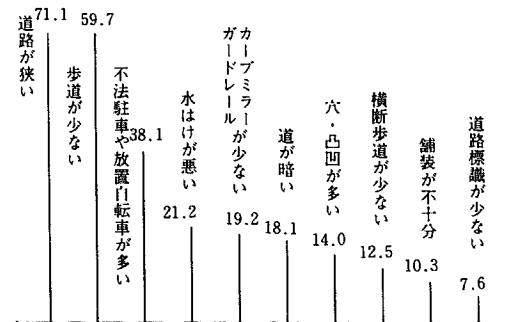
年代別	人数	割合 (%)
20代	87人	15.8%
30代	124人	22.5%
40代	146人	26.5%
50代	113人	20.5%
60以上	81人	14.7%

職業別	割合 (%)
会社員・役員・パート	42.6%
主婦・無職	28.1%
自営・農業	18.3%
その他	16.0%

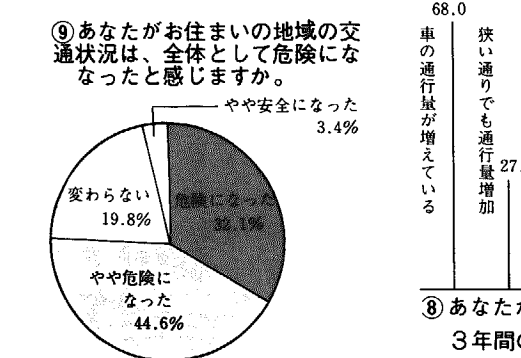
勤務地別	割合 (%)
黒崎町	61.0%
新潟市	30.3%
その他	8.7%

新潟交通電鉄の黒崎町内の各駅の乗降者数(表A)を見てみると全駅の合計で昭和62年は昭和55年の73・7％と4分の3に減っています。特に木場駅、板井駅では55％と半分近くに減っています。

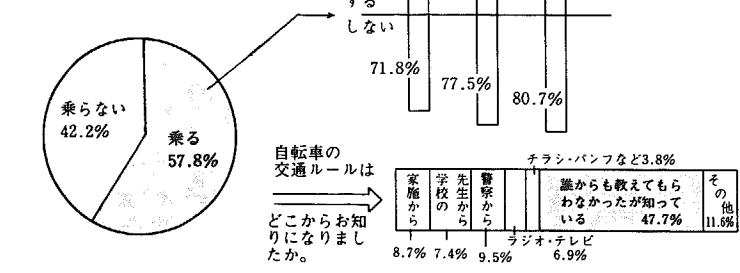
自動車のマナーについては、⑩をご覧ください。全体の半分以上(57・8％)の人が乗っています。傘さし運転・無灯火運転・交差点での一時不停止をしている人がいずれも20％前後います。また、自転車の交通ルールをどこで知ったか、という質問では、「教えてもらったが知っている」という人が多く、非常に不安を感じさせます。



⑦日ごろ利用している道路についてお気づきのことは。



⑩ふだん自転車に乗りますか。



「危険になった」が76・7％。それではふだん利用している道路の状況をどう感じているのでしょうか。⑦にあるように、「道路

「交通状況が危険になったかどうか」⑨という問には、「非常に危険になった」「やや危険になった」が合わせて76・7％ありました。道路が狭いというので、当然といえるでしょう。